

子育て支援センター

子育て支援センターでは、子どもが安全に伸び伸びと遊べ、季節の行事や生きる力を共に学ぶ活動を行っています。また、町のホームページに毎月のお便り、行事予定を掲載しています。



★地域子育て支援センター(総合ケアセンター南三陸2階) ☎46-3042

【時間】午前10時～午後3時
(土日、祝祭日は休み)

【対象】未就園児とその保護者、祖父母

*子どもの水分補給として飲み物を持ってきてください。
*毎週木曜日にお楽しみ行事があります。

入谷ひろば

【日時】11月8日(水)午前10時～11時30分

【場所】入谷公民館和室

【対象】未就園児とその保護者、祖父母

【内容】12月のカレンダーを子どもと一緒に作ります。

★ゴール目指して、よーいどん! ～子育て支援センター合同運動会開催～

10月4日(水)、町内にある子育て支援センター合同の運動会を開催しました。気持ちのいい秋空の下、はいはい競走やかけっこ、親子競技に玉入れ、そして飛び入りでのお父さんリレーも行い、楽しいひとときを過ごしました。頑張ったごほうびは、手作りメダル。来年も頑張ろう♪



「ト」子どもたちや一緒に守る仲間たちがいて、そういう人たちと色んな苦しみや喜びを一緒に分かち合ってきました。それが今日まで続けてこれたわけかな。一人だったらできなかつたのかも知れない。見てくるお客様がいて、子どもたち、仲間たちがあつてやつてこれました。伝えていかなければならぬということを考えやつてきたのではなく、毎日毎日の活動がここまできたというだけの話です。水戸辺鹿子躍を伝えていかなければならぬ氣負ったものは何もないんですよ。ただ「自然体」の中で、そういう

地域のつながり、人とつながりが自分の中に染みついている。そのうち、子どもたちの誰かが鹿子躍を継いでくれるだろうと思つています。ただ、そのためには、リーダーの育成が必要です。リーダーはそれなりに皆をまとめる力が必要なので、今の若い人たちの中からリーダーを作る必要があると思つています。しかし、あくまでも「自然体」。私があまり構えてしまって他の人たちがプレッシャーを感じてしまうので、楽しくやっているところを見せていかないと。そのことがあとにつなぐことになるでしょう。私がリーダーをやりますという手が自然とあがつてくるようにもつていけたらなと思っています。」

林際講は全部で108戸あります。幸いにもお祭り好きな人がたくさんいます。いくら講長が頑張ったところができるものではないし、皆の協力がもられないとしてもいけません。今年は9月2日から16日までの15日間練習を行いました。花輪を作るだけでも最低10日間はかかります。この練習の1日の参加人数は100人、全部で1,500人です。今、これだけの人数が集まるというのは、他にはありません。しかも、毎日毎日100の人たちが集まつてくるのだから。



行山流水戸辺鹿子躍保存会
会長 村岡賢一さん

時代は変わつても、現代に脈々と受け継がれる伝統芸能。この大切な郷土芸能を次世代にバトンパスしなければなりません。二人にとつて郷土芸能を伝えるとは。

今年の当番講は林際講でした。9月に入ると毎晩、若者たちは、笛師、太鼓、小太鼓、獅子、獅子愛子、それぞれの部門に分かれ練習を重ねます。また、花輪を作る人、「あわじ」と呼ばれる水引の飾り物を作る人、食事を用意する人など、当番講100戸以上の皆さんが2週間に渡り作業と練習に励んでできる打囃子。そのつながりは、「ミユニアイの域を越え大きな絆のように思われます。

「私が打囃子に出だしたのは小学校5年生からです。そこからずっとかかわっています。祭りが好きだから祭りにタッチしているのでします。だから、祭りが大変だとは思いません。4年一度回つてくる祭りだから必ずやらなければならないなと思つてやつてきました。ずっと引き継いでいくという気持ちは今も変わらないし、子どもや孫たちがずっとやつてくれればなと思っています。

林際講は地域のつながり、絆が強いからまとまる。そういうた地域全体が「入谷打囃子」を伝えているのではないでしようか。人と人、地域とのかかわりが薄れていく中で、このことが一番の宝物なのかもしれません。



林際講 講長 山内敏裕さん